コロナ禍で家族が求めるつながりとは

～ICTを活用した新たな取り組み～

浜北愛光園　伊藤梨花子、廣瀬真実

はじめに

　新型コロナウイルス感染症が流行する中、利用者と家族の面会方法はオンライン面会になり、事前予約制で時間も限られている。

　その中で、私たちは、新たに導入したICTシステムを活用することで、日々の様子を伝えることは出来ないかと考えた。

目的

ICTを活用して、家族との新しいつながり方をつくる

倫理綱領

個人が特定されるデータは添付しない等、
個人情報の取り扱いに配慮した。

HitomeQコネクトとは

- 介護施設と利用者家族とのコミュニケーションツール
- 面会やメッセージ送信、ライブ配信等の機能を使うことができる

メッセージ
写真・動画

既読
返信

①登録者数を増やす為の利用者家族への働きかけ

パンフレットと登録に必要なQRコードを郵送するが、登録者数が増えず・・・。

➡家族向けの登録方法マニュアルを作成

➡施設来園時、家族に登録メリットを伝える

②メッセージ配信のマニュアル作成

① iPhoneの起動　ヒトメクコネクトをタップ

② ユーザーIDをタップ後　、〇〇を使用をタップ
ログインされ右記のようなメニュー画面が表示される

③ メッセージ送信方法として
メッセージ送信をタップ

新規送信をタップすると
右記の画面へ

次のへ

③職員向け勉強会実施

勉強会の内容

ヒトメクコネクトの機能について説明

どういうシステムなのか、活用方法について。

実践してみる

送信の仕方、送信時の注意点を説明後、
参加者がテスト送信をしてみる。

勉強会後

参加者が他職員にやり方を説明し、
テスト送信を依頼する。

家族にメッセージを送信してみる。

メッセージを送信した職員の声

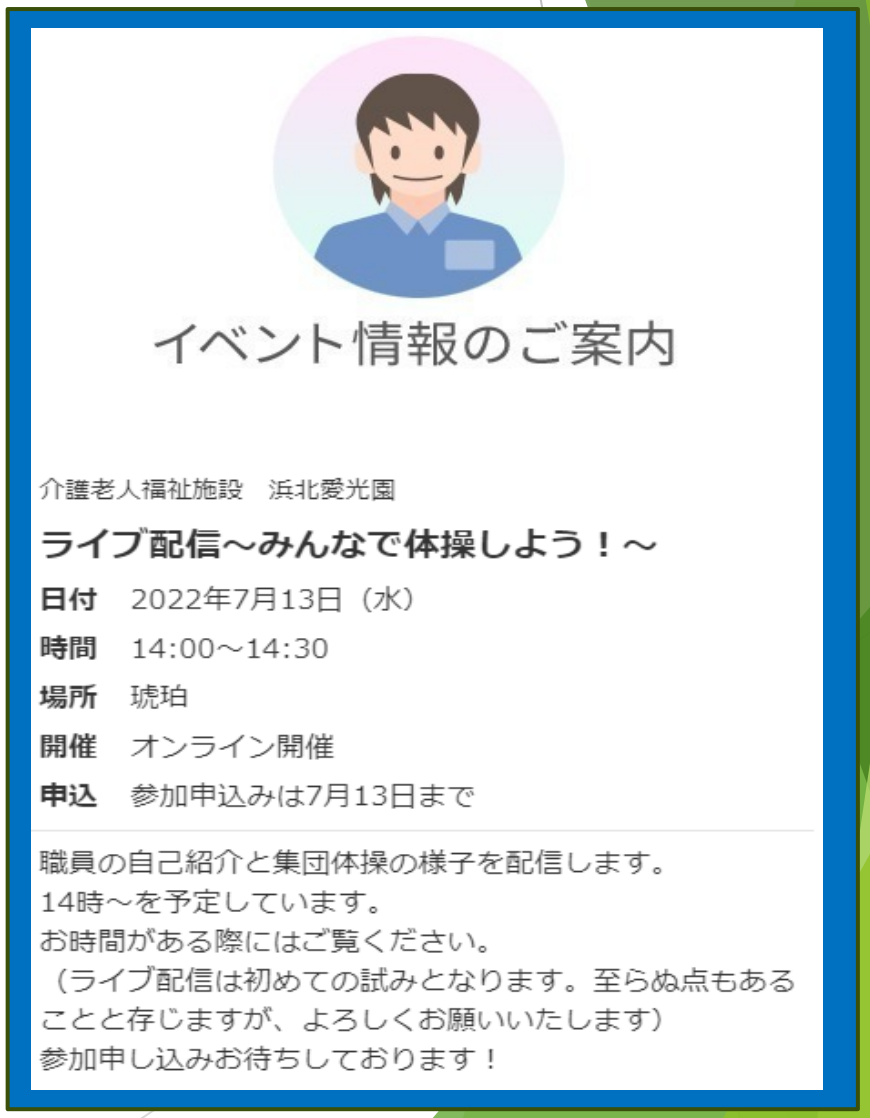
・使いこなすことができれば、便利な物だと思った。
・家族から返信をもらえて嬉しい。
・利用者の日常を家族に伝えたいと思っていた。
・電話の繋がりにくい家族へ、アプローチしたい。
・今後、物品依頼やイベント関係の報告を送りたい。

④ライブ配信

普段の様子をリアルタイムで
伝えることができるシステム

何回もテスト配信を行い、電波状況等を確認。
開発企業の担当者と連絡を取り合い、
配信できる体制を整えた。

日々の活動として、集団体操の様子を配信。
画面が固まってしまうこともあったが、
家族に様子を伝える事ができた。



活動経過

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
	プロジェクト会議							
家族向け	登録案内発送					ポスター、登録方法発送		敬老会写真動画配信
	新規入所者への登録促進			未登録者への登録促進		土日オンライン面会開始		
						ライブ配信	ライブ配信	
職員向け			メッセージ配信（テスト）	メッセージ配信				
		マニュアル作成	勉強会2回実施	ポスター、登録方法作成				テンプレート作成
			マニュアル修正、配布		土日の面会方法伝達	土日オンライン面会開始		
				ライブ配信（テスト）				

結果

登録者が増え、体制を整えたことで、
現在は月50～60件家族へメッセージを
送ることができるようになった。

毎日大変お世話になっており、職員の皆様には心より感謝申し上げます。
LINE配信、みてよかったです。コロナ禍前のいつも面会に行っていたフロアの感じを久々に味わえました。
日々お忙しい中、本当にありがとうございました。

おはようございます。テレビ、見て頂いて有難うございました☺
　朝の様子も見る事が出来て安心しました。ヒトメコネクトがこんなに便利に使えるのですね❗
　どうぞ今日も一日宜しくお願いします。感謝。

エピソード

家族より、結婚式におばあちゃんを参加させたい、
見に来てほしいという相談があった。

⇩

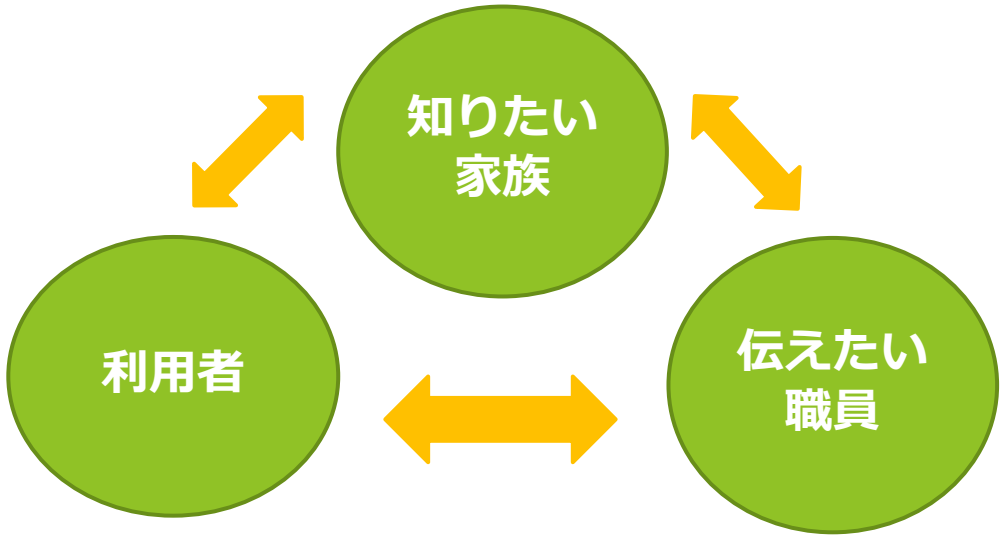
コロナ禍で参加するのは難しい。
でも、どうにかして参加させてあげたい。
何か良い方法はないか？

⇩

オンライン面会で
参加することができた！

考察

コロナ禍で見えなかった利用者の日常生活が見えるようになり、家族の不安・心配が軽減されたと考える。



利用者・家族・職員の満足度の向上につながる

ご清聴ありがとうございました。

引用：KONICA　MINOLTA
URL：https://qol.konicaminolta.jp/hitomeq/connect